

## 平成 29 年度学内研究助成 成果報告書

### ① 報告者所属・氏名

生活科学部 食生活科学科・佐藤 幸子

### ② 事業

『JISSEN Cooking Lab』

### ③ 事業の目的

地域貢献の取り組みとして、日野市在住の小学生とその保護者を対象に、小学生の食に対する関心を深め親子との関わりの中で食文化の継承を目指し、食育講座を開催した。

また、産学連携における学生のポピュレーションアプローチを体験する取り組みとして検証することを目的とした。

### ④ 事業実績・研究成果（具体的に）

『JISSEN Cooking Lab』主催による食育講座「JISSEN FAMIRY COOKING! 夏」(2017.7.30) および「JISSEN FAMIRY COOKING! 春」(2018.3.24) を開催した。

食育講座「JISSEN FAMIRY COOKING! 夏」では、定員 12 組 (24 名) の応募に対して 27 組 (54 名) の申し込みがあり、先着にて最終的に 16 組に受講受付票を配布した。申し込みの際には緊急連絡先として保護者の携帯電話等の連絡先の記載をお願いしたため、当日の確認も効率的に実施できた。また、申し込み方法は情報センターから専用のアカウントを開設してもらい、メールでの応答により運営した。『JISSEN Cooking Lab』として、専用のアカウントによる運営は、通常授業に影響がなく、有効な手段であった。

講座内容は、サブタイトル「自分好みの辛さにスパイスをブレンドして、わが屋のカレーパン作り」とし、所用時間 10:00~14:00 の 4 時間の中で、デモンストレーションを小学生と同時に実施し、「実習⇒試食⇒質疑応答」の講座として。実施後のアンケートでは、全ての家族が、このような講座を頻繁に行ってほしいという要望があった。

また、食育講座「JISSEN FAMIRY COOKING! 春」では、定員 12 組 (24 名) の応募に対して 48 組 (96 名) の申し込みがあり、先着にて最終的に 14 組に受講受付票を配布した。2017 年夏の講座では、広報として企画広報部 (後藤氏) が日野市公聴会にてチラシ配布を実施した。2018 年春の講座では、企画広報部 (林氏) が日野市の広報誌の掲載および近隣小学校への配布を実施し、いずれも申し込み日から約 1 週間以内に定員を満たし応募締切りとなった。本事業において、日野市在住の小学生を対象とした食育講座は、興味関心が高く、継続的に実施していく事が重要であり、有益な成果を得た。

また、(株)スタイルブレットの協力を得て、無添加のスープを試食していただき、加工食品の食品表示に対する関心も深めることができた。

### ⑤ 研究成果の発表・活用（学会発表・論文掲載・地域連携・産学連携など）

【原著論文】

「調理教育のパフォーマンス評価の検討」食生活研究、38, 2, p105-116(2018. 1)

【地域連携食育講座】

「Cooking Lab」主催の日野市の小学生向け食育活動を実施

「JISSEN FAMILY COOKING 夏!」平成 29 年 7 月 30 日開催,16 組参加

「JISSEN FAMILY COOKING 春!」平成 30 年 3 月 24 日開催 14 組参加

⑥ 今後の展開・継続性について

小学生（低学年）対象の食育講座は初めての活動であったが、地域貢献として有意義な活動であり、今後も継続していく予定である。また、食育講座では学生をアシスタントとして食育実践指導者と位置づけ、学生への事前指導を計画的に実施することが重要であり、教育カリキュラムとして検討を重ねていきたい。